

防災便り

第18号

自主防災の基本

自助：自らの【命・家族・資産】は自ら守る

近助：防災は【近所の助け合い】が大切

共助：自主防災は【B藤沢自治会】主体の自主防災隊

令和元年11月（情報班）発行

B地区藤沢自治会自主防災隊

滝の沢小学校避難所開設・

防災訓練 安否確認訓練報告

9月23日 滝の沢小学校避難所開設・防災訓練が行われました。

朝、8時に各自治会から運営委員の皆さんが集まり、小学校で準備を開始。

9時に地震発生ということで、各自治会の方は、各一時避難場所に集合して、自治会ごとに、小学校に避難開始。

当自治会では、合わせて安否確認訓練を実施しました。

街区の役員さんが、白タオルが掲示されていることを確認して、集会所に参集し街区地図の結果を書き込みました、

今回の結果は、右表のとおりでした。

その後、滝の沢小学校に移動して、9時40分に開会式が行われました。

台風の影響で風が強かったので、煙体験は中止となりましたが、濾水機見学、起震車体験、トイレの組み立て等の訓練を実施し、最後に、体育館に集合して、避難スペースを確認し、配給訓練で解散となりました。

当自治会からは、41名の方が参加され、地域の中でも最高の参加者数でした。

参加いただきました皆さん、ありがとうございました。

掲示あり	134	77%
当日ルス	9	5%
掲示なし	26	15%
空き	6	3%
合計	175	



第4回総合防災訓練 安否確認訓練協力をお願い

下記日程で、自治会主催の防災訓練が行われます。

同時開催で、安否確認訓練を行います。

当日朝、**8時00分まで**に、玄関の見やすい位置に、「白いタオル」を掲示していただくことをお願いします。

各街区の役員の方は、チェックを行い、9時に集会所にお集りください。

9時30分には撤去していただいで結構です。



実施日：12月1日（日）

トイレが使えないときの 簡易トイレの作り方



1

便座を上げて、45ℓのゴミ袋の中に敷く（便器内の水はそのまま）。養生テープがあれば、袋のふちを便器に貼って固定します。



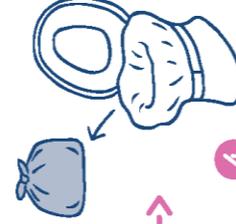
2

便座を下げて、便袋（便器にセットできる大きさの袋）をセットします。



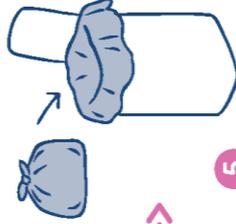
3

利用する前に新聞紙や紙おむつを便袋の中に入れ、便を吸収させます。または、利用後に市販の凝固剤などをふりかけます。



4

便袋を取り出して、口をしっかりしばります。



5

便袋を黒いゴミ袋や消臭袋に入れて、汚物ゴミの回収があるまで保管しておきます（便袋は各区市町村の決まりにしたがって処理）。

トイレが使えないときに 必要な物は？

地震で自宅の排水管や道路の下水道管が損傷すると、汚水が逆流したり、損傷したところから噴出することもある。特に集合住宅では、下の階の住戸で汚水が逆流する場合があります。災害時には排水管の損傷がないことを確認できるまでトイレを使わないようにしましょう。

そのため、備えが重要になるのが、非常用トイレ。市販の物を用意する以外に、次のような方法でも非常用のトイレが作れます。

（トイレが使えないときのために準備しておく物）



45ℓのゴミ袋

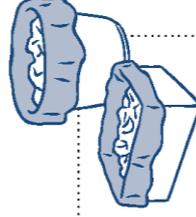
黒い袋なら汚物が見えないのでストレスを減らせます。[1日の目安：数枚]



便を吸収・凝固するための物

市販の処理剤のほか、新聞紙、紙おむつなどでも代用できます。[1日の目安：1人5～7回分]

※トイレには流せません。



便器が壊れているときなどは

厚手の段ボール箱、大きめのバケツなどで代用できます。

